



麦穂

東 村 山 第 一 中 学 校

令和7年度 3月最終号

学校だより

発 行 者 校 長 坂 下 惣 栄

今日は修了式、学校の1年間が終わります。

1学期末、2学期末は終業式ですが、3学期末は、終業式ではなく修了式です。

「修了する」とは、それぞれ1年生と2年生で学ぶべきことを学び修めることができたという意味です。

この修了式を終えることで、皆さんは晴れて1つ上の学年に進級することになります。

さて、学校について、その学校が良い学校であるか、そうでないか、どんなことで判断すればよいのでしょうか。

様々な尺度、ものさしがあると思いますが、私は、こんなことを考えています。

「皆さんに、上級生としての自覚が出てきて、よく考え、正しく判断できるようになり、自分の行動に責任をもつようになる」

年齢が上がるのだから当たり前のように感じるかもしれませんが、必ずしもすべての学校がこうではないように思います。

一中の教育目標の言葉を使うと、学年が上がるにしたがい、「よく考え自ら学ぶ人となる」「広く他を思いやる人となる」「明るく心身共に健康な人となる」、これらが高まっているのが良い学校ということです。さて、皆さん、一中はどうでしょうか？

この1年間を通して、一中で私が感じたことは、一中生は学年が上がるごとに、個人としても集団としても、確実に成長していることが実感できる、ということです。

このことは、一中で皆さんの先輩や先生たちが日々努力してきた結果だと思えますし、それを受け継いでいる皆さんは、このことを誇りに思っただけでよいと思いません。

春休みをはさんで、2週間後には新入生が入学します。この素晴らしい伝統を新入生にも引き継いでください。

4月から学年がひとつ進みます。心を新たに、さらに自分を磨き、個人としても集団としても、より良く成長させていってください。